

(別紙4(2))

事業所名 ふれあいの家 住吉

目標達成計画書

作成日: 平成 29 年 7 月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるような、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが固定化しているので、新しい参加委員を増員し、会議が充実した内容になるように議題や内容を検討し、参加委員が会議に魅力を感じて、参加したくなる運営推進会議を目指していく。	参加委員を利用者家族や地域で活動している有識者、知見者等に参加要請し、意見や要望、地域の問題等を話し合い、解決に向けて取り組み、ホームの繁栄だけではなく、地域貢献にも取り組んで行く。	12ヶ月
2	51	日常的な外出の支援	利用者の重度化や、ゆとりのある職員の勤務体制が採れていないので、散歩や買い物等の日常的な外出が難しいため、ゆとりのある介護の中で、利用者の生きがいに繋がる外出の支援に取り組んでいく。	利用者が行きたい場所に出かけられる職員体制を構築し、ボランティアに協力して貰い、利用者の気分転換や外気浴を兼ねて、気軽に出かけ、利用者の生きる力に繋がる外出の支援を行っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。